授業科目	学習・認知心理学Ⅰ（感覚・知覚・学習・記憶）				
担 当 者	小林穂波				
専攻(科)	言語聴覚専攻科	学　　年	1年	総単位数	1単位
		開講時期	前期	選択･必修	必修

■ 授業目的・内容

言語聴覚士に必要とされる学習･認知心理学の諸分野について解説する。前期は「感覚」「知覚･認知」「学習」「記憶」「対人認知」に関する内容を扱う。本講義では日常生活で身近に見られる例を多く紹介し、私たちの普段の行動（本を読む・人と話す・自転車に乗る…）がどのような認知機能に支えられているのか、理解を深める。

■ 到 達 目 標

(1) 人間の感覚・知覚・認知過程について概要を理解し、心理学の用語を用いてわかりやすく説明できるようになる。
(2) 講義で扱った主要な概念・用語について理解し、心理学になじみがない人に対してもわかりやすく説明できる。

■ 授 業 計 画

第１回　認知心理学とは / 感覚（1）: 感覚の種類・感覚可能範囲と感度・物理量と心理量
第２回　感覚（2）: 網膜と視知覚 / 色彩の知覚
第３回　知覚・認知（1）: 空間知覚 / 形の知覚 / 運動知覚
第４回　知覚・認知（2）: 知覚の恒常性・知覚の統合と相互作用・知覚運動協応
第５回　知覚・認知（3）: 注意・オブジェクト認知
第６回　対人認知: 印象形成 / 対人魅力 / ステレオタイプ / 認知的不協和
第７回　記憶（1）: 記憶の過程と分類
第８回　記憶（2）: 短期記憶とワーキングメモリ
第９回　記憶（3）: 長期記憶
第10回　記憶（4）: 記憶の検索と忘却・記憶の歪み
第11回　学習（1）: 古典的条件づけ
第12回　学習（2）: オペラント条件づけ
第13回　学習（3）: 様々な学習（弁別学習・技能学習・社会的学習）
第14回　学習（4）: 動機づけ
第15回　認知心理学の歴史と方法論 / 前期のまとめ

■ 評 価 方 法

毎回の小レポート : 10%　期末試験 : 90%

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

講義内で配布した資料を次回までに読み直して復習しておくこと。次週までに目を通しておくべき教科書の範囲は、毎回の講義で指定する。参考図書の該当部分もあわせて読んでおくことが望ましい。

■ 教　科　書

書　名：心理学（第５版 補訂版）
著者名：鹿取 廣人 , 杉本 敏夫 , 鳥居 修晃
出版社：東京大学出版会

■ 参考図書

書　名：グラフィック認知心理学
著者名：森敏昭・井上毅・松井孝雄
出版社：サイエンス社

書　名：言語聴覚士のための心理学（第２版）
著者名：山田弘幸（編集）
出版社：医歯薬出版株式会社

■ 留意事項

不測の事態（災害等）が発生した際、遠隔授業による授業運営に変更する場合がある。変更が生じた場合は、講義支援システム（Moodle）を通じて周知する。

■ 講義受講にあたって

受講生の要望や関心に合わせて講義内容を多少変更することがあります。本講義の内容に関する質問や要望は、小レポートの自由記述欄・メール等で伝えてください。